

令和6年度(2024.4-2025.3)

血液事業概要

埼玉県赤十字血液センター

目次

所長あいさつ	1ページ
埼玉県赤十字血液センターの沿革	2ページ
組織機構図と職員数	5ページ
血液センターの業務	6ページ
施設の案内	10ページ
献血ルームの案内	12ページ
広報・キャンペーン活動	14ページ
研修・見学	18ページ
統計資料	20ページ

所長あいさつ



平素より埼玉県赤十字血液センターの血液事業につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和6年度、埼玉県では延べ 243,263 人の皆様に善意の献血へご協力いただき、血液を必要としている患者様のもとへ滞りなく輸血用血液製剤をお届けすることができました。これは、献血にご協力いただきました皆様をはじめ、埼玉県・各市町村、地域の協力団体等、多くの方々のご尽力のおかげと、心よりお礼申し上げます。

さて、血液事業においては、埼玉県を本拠地としている埼玉西武ライオンズ、浦和レッドダイヤモンズ、RB大宮アルディージャ、埼玉パナソニックワイルドナイツにお力添えいただき、献血啓発イベントを開催し、多くのファンの方にご参加いただきました。また、地域の協力団体とのコラボによるキャンペーンを実施し、冬季における献血協力者が減少する時期に、効果的なキャンペーンを行うことができました。

埼玉県内においては輸血用血液製剤の需要が増加しており、様々な血液確保策を実施するとともに、XやInstagram等のSNSをより一層活用し、献血の普及啓発や理解促進を図っております。

医療技術が発展した今も、輸血に使用される血液は人工的に造ることができません。他に代わるものの無い輸血用血液製剤を患者様へお届けするためには皆様の献血へのご理解とご協力が不可欠です。

安全な輸血用血液製剤の安定供給に向け職員一丸となって努めて参る所存ですので、引き続き皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

埼玉県赤十字血液センター

所長 中川 晃一郎

埼玉県赤十字血液センターの沿革

●1964年（昭和39年）

- 8月 「献血推進について」の閣議決定
- 11月 日赤本社から日赤埼玉県支部に移動採血車（愛の献血車）1台配備
- 12月 埼玉県献血推進協議会を設置

●1965年（昭和40年）

- 2月 埼玉県赤十字血液センターを大宮赤十字病院の一室に開設（業務開始）
- 6月 埼玉県赤十字血液センター施設を大宮赤十字病院の敷地内に新築落成



- 9月 「第1回愛の献血助け合い運動」を実施
- 11月 県内の保健所地区すべてに献血推進協議会を設置

●1967年（昭和42年）

- 3月 県内の市町村すべてに献血担当窓口を設置

●1968年（昭和43年）

- 4月 献血相談員制度（1971年4月に献血指導員に改称）を発足
- 8月 不規則抗体スクリーニング検査を開始
- 10月 県内最初の市町村献血組織（川越市献血会）を設置

●1969年（昭和44年）

- 8月 県内での献血者10万人を達成
- 10月 「第1回埼玉県・愛の血液助け合いの集い」を埼玉会館（浦和市）で開催

●1971年（昭和46年）

- 3月 Au（HBs）抗原検査を開始

●1973年（昭和48年）

- 8月 血液成分製剤の製造を開始

●1975年（昭和50年）

- 9月 血液製剤用に血液型別カラーラベルの使用を開始

●1976年（昭和51年）

- 8月 Rh マイナス型の献血者登録を開始

●1977年（昭和52年）

- 4月 異常値を示した献血者に対する生化学検査結果の通知を開始
- 6月 献血者登録制度を開始
- 10月 HBs 抗原検出用試薬の製造を開始

●1979年（昭和54年）

- 3月 県内での献血者100万人を達成



- 4月 HLA抗体スクリーニング検査を試験的に開始
- 7月 研究部（HBs 抗原検出用試薬の製造供給・開発研究）を設置
- 9月 岩槻市役所で県内最初の出張（オープン）採血を実施
- 10月 バッグによる採血に全面切替（ビンでの採血を中止）

●1980年（昭和55年）

- 1月 献血手帳から優先還元に関する記載事項を削除

●1981年（昭和56年）

- 11月 県内での献血者150万人を達成

●1982年（昭和57年）

- 4月 献血者全員に対する生化学検査結果の通知を開始、献血手帳から供給記録欄を削除

●1983年（昭和58年）

- 7月 県内2つめの血液センターとして、熊谷市に熊谷赤十字血液センターを開設（新築）
- 10月 県内での献血者200万人を達成

●1984年（昭和59年）

- 3月 県内最初の献血ルームとして、大宮駅近くに大宮西口献血ルームを開設（2001年7月に移転）

●1986年（昭和61年）

- 4月 400mL、成分献血の実施
- 9月 県内での献血者300万人を達成
- 11月 ATL抗体検査を開始

●1987年（昭和62年）

- 7月 第23回献血運動推進全国大会を埼玉県（浦和市文化センター）で開催（ご臨席の皇太子殿下・同妃殿下が熊谷赤十字血液センターを啓啓）



●1989年（平成元年）

- 11月 HBc 抗体検査（HI法）・HCV抗体検査（ELISA法）を開始

●1990年（平成2年）

- 7月 HLA適合血小板製剤の供給を開始

●1991年(平成3年)

6月 CMV抗体検査を開始

●1992年(平成4年)

1月 埼玉県赤十字血液センターと熊谷赤十字血液センターに骨髓データセンターを併設

5月 大宮駅東口に大宮東口献血ルームを開設(2001年7月に移転)、クレアモール商店街(川越市)に川越献血ルームを開設(2011年10月に移転)

●1993年(平成5年)

7月 日高市に第三血液センターの竣工

10月 第三血液センターを埼玉県赤十字血液センターとし、旧・埼玉県赤十字血液センター(伊奈町)を埼玉県伊奈赤十字血液センターに、熊谷赤十字血液センターを埼玉県熊谷赤十字血液センターに名称を変更(埼玉県赤十字血液センターを中心とする3血液センターによる県内一体運営体制がスタート)

●1994年(平成6年)

3月 HIV-2抗体検査を開始

11月 3血液センターのオンラインシステム(血液事業統一システム)が稼働

●1995年(平成7年)

3月 医療機関に対する血液製剤直配体制に移行(供給業務委託の中止)

●1996年(平成8年)

10月 鴻巣自動車運転免許試験場敷地内に鴻巣献血ルームを開設(2014年4月改築)

●1998年(平成10年)

6月 放射線照射輸血用血液製剤の供給を開始

●1999年(平成11年)

4月 献血者の採血基準を改正(献血年齢を69歳に引上)

5月 献血者データの全国オンラインシステムを稼働

10月 核酸増幅(NAT)検査を導入

●2000年(平成12年)

1月 希望者に対するHTLV-1抗体検査結果(異常の場合)の通知を開始

8月 熊谷駅施設内に熊谷駅献血ルームを開設

●2001年(平成13年)

7月 大宮東口献血ルームと大宮西口献血ルームを統合し、大宮駅献血ルームとして大宮駅構内に新装開所

●2003年(平成15年)

7月 安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が全面施行

血液製剤の表示事項(「献血」・「非献血」の採血方法の追加等)・添付文書等の改定など(改正薬事法の施行)

●2004年(平成16年)

1月 新鮮凍結血漿の2ヶ月間(60日間)の貯留保管開始

3月 携帯メールクラブ受付開始

6月 新鮮凍結血漿の貯留保管棟を建設

10月 献血者本人確認の開始
保存前に白血球除去した血小板製剤の供給を開始

●2005年(平成17年)

6月 英国渡航歴のある方の献血受入れ制限措置を開始

●2006年(平成18年)

3月 携帯メールクラブの全国化

タッチパネル方式による問診回答システムの導入

保存前に白血球除去した成分採血由来の新鮮凍結血漿(FFP-5)の製造を開始

4月 埼玉県伊奈赤十字血液センターを伊奈出張所に、埼玉県熊谷赤十字血液センターを熊谷出張所に名称を変更

5月 埼玉センターでの血液製剤の県内一括受注開始

川口駅東口に川口駅献血ルームを開設

9月 保存前に白血球除去した成分採血由来の新鮮凍結血漿(FFP-5)の供給を開始

10月 これまでの献血手帳から本人確認が簡便で携帯性に優れた「献血カード」を全国で導入

●2007年(平成19年)

1月 保存前に白血球除去した赤血球製剤の供給を開始

3月末にかけて段階的に初流血除去を開始

11月 血小板製剤の有効期限の変更(採血後4日間)

●2008年(平成20年)

2月 感染症関連検査を化学発光酵素免疫測定法(CLEIA法)で開始



9月 越谷献血ルームを移転し、越谷レイクタウン献血ルームとして新装開所

10月 研究部を廃止

●2009年(平成21年)

3月 糖尿病関連検査グリコアルブミン検査を開始

12月 所沢献血ルームを移転し、所沢プロベ通り献血ルームとして新装開所

●2010年(平成22年)

1月 英国渡航歴のある方の献血受入れ制限の緩和

10月 大宮駅西口に大宮献血ルーム ウエストを開設

12月 200mL全血献血者の方にも、血球計数検査結果の通知を開始

●2011年(平成23年)

4月 献血の採血基準を一部改正(男性に限り、400mL全血献血が可能な方の年齢の下限を17歳に引き下げ、血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を69歳に引き上げた)

10月 第35回血液事業学会総会を埼玉県(埼玉会館)で開催(10/20~10/22)

埼玉県赤十字血液センターの沿革



10月 川越献血ルームを移転し、川越クリアモール献血ルームとして新装開所

●2012年（平成24年）

2月 東松山市に埼玉県東松山赤十字血液センター（製造棟）を開設し、検査・製造業務を移転

4月 血液事業の広域運営体制の開始
組織改正に伴い、埼玉県東松山赤十字血液センターが関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所となり、北関東・信越6県の検査及び製剤業務を実施



8月 献血血液の検査基準の変更（輸血後のB型肝炎対策として、「HBc抗体1.0以上12.0未満かつHBs抗体200mIU/mL未満」の献血者に対する献血制限の実施）

10月 シャーガス病に係る安全対策の開始

●2013年（平成25年）

1月 「献血の同意説明書」の導入
「献血の同意説明書」により献血に伴う副作用に関する事項を含む4項目について同意事項を説明し、同意いただいた方の献血受入れ開始

12月 献血会場にて、検査目的の献血のお断りと問診事項への正しい回答で献血していただくため、「責任ある献血」の注意表示を開始

●2014年（平成26年）

1月 検査目的の献血者への注意喚起などを収載した「お願い！」パンフレットの改訂

4月 鴻巣献血ルームを改築し、開所

6月 献血者データの全国オンラインシステムを更新（血液事業情報システム）

7月 大宮駅献血ルームを閉所

8月 大宮献血ルームウエストを、面積・ベッド数ともに増加して改装
1検体ごとのNAT（個別NAT）スクリーニングを開始

9月 血小板の安定供給を目的とした分割採血を開始

●2015年（平成27年）

3月 伊奈事業所を閉所
分画製剤の販売を終了



4月 さいたま市見沼区に本センターとしての新社屋を竣工し、埼玉県赤十字血液センターの本部機能を移転
旧埼玉センター（本センター）は日高事業所と改称

11月 越谷レイクタウン献血ルームを改装

●2016年（平成28年）

4月 献血血液のALT（肝機能）検査による製品除外基準の変更
【変更前】61IU/L以上→【変更後】101IU/L以上

●2017年（平成29年）

4月 平成19年度から平成28年度において、高校生献血者数が10年連続全国第1位

●2018年（平成30年）

10月 献血Web会員サービス「ラブラッド」の運用開始

●2019年（平成31年・令和元年）

12月 献血時体温測定開始

●2020年（令和2年）

8月 HEV NAT検査開始

9月 健康診断基準（血圧・脈拍・体温）の変更

●2021年（令和3年）

2月 新型コロナウイルスワクチンを接種された方の献血受入を中止

5月 新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチンを含むRNAワクチン）を接種された方の献血受入を開始

9月 新型コロナウイルス既感染者の方の献血受入を開始（基準あり）

11月 感染症検査において複数回偽陽性であった対象者へ通知の開始
同時に対象の方の献血受入を中止

●2022年（令和4年）

1月 県内全献血ルームにて、全血献血の事前検査を指先穿刺による方法へ変更

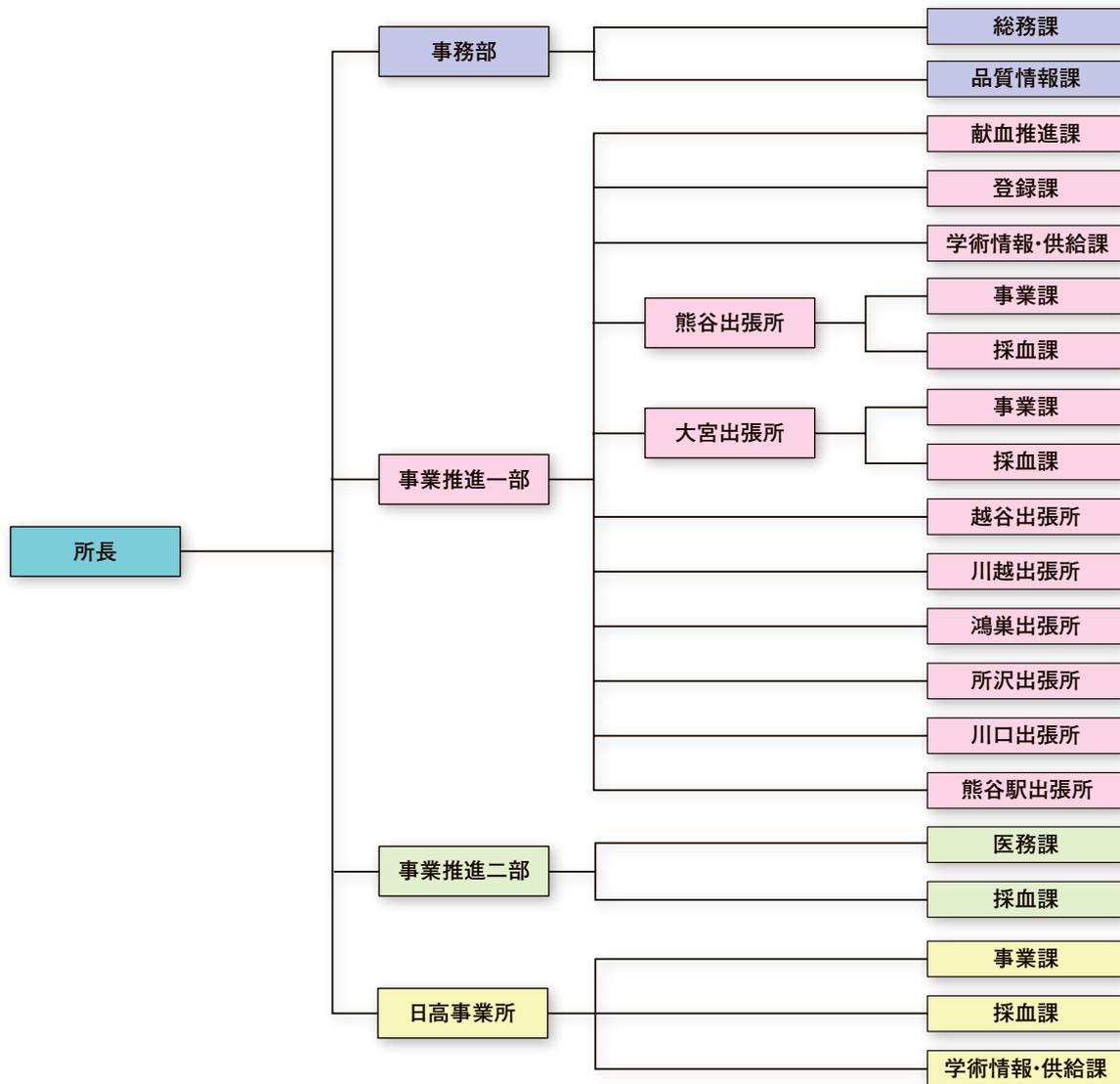
9月 献血Web会員サービス「ラブラッド」のアプリによる運用を開始
アプリによる献血予約や事前問診が可能となる

●2023年（令和5年）

3月 有効期間を「採血後28日間」に延長した赤血球製剤の供給開始

5月 全献血希望者に対して体重測定を実施する運用を開始（移動採血は9月25日開始）

組織機構図と職員数

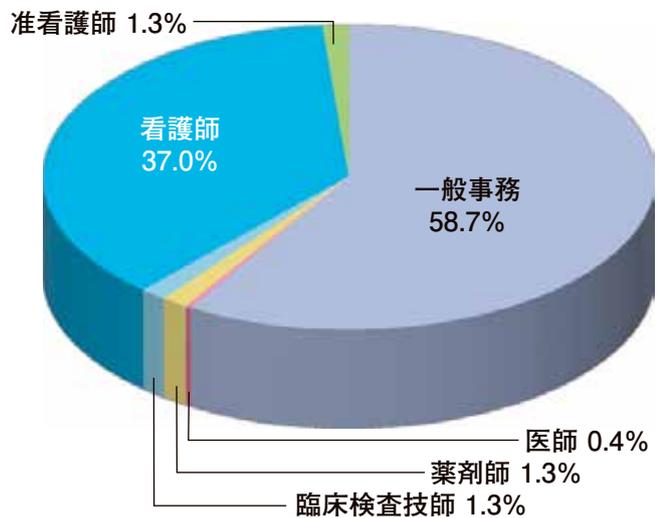


職員数

職種	人数(人)	構成比
一般事務	135	58.7%
医師	1	0.4%
薬剤師	3	1.3%
臨床検査技師	3	1.3%
その他医療職	0	0.0%
看護師	85	37.0%
准看護師	3	1.3%
合計	230	100%

令和7年4月1日現在

職種別構成比



血液センターの業務

● 献血者の確保

埼玉県赤十字血液センターでは、県・市町村・献血推進協議会・献血推進団体と協力し、献血計画を作成したうえで、県内の事業所、学校及び地域における献血参加を呼び掛け、日々献血される方の受け入れを実施しております。

また、医療機関からの要請に対して、安定した血液の供給体制を確立するため、若年層に対する献血啓発や献血協賛企業の推進を図るとともに、より安全な血液を安定的に確保するための各種キャンペーンを展開しております。

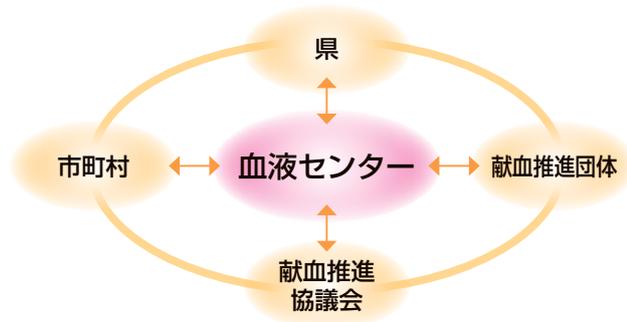
継続的な献血協力を目的とした献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を推進し、お知らせや案内、献血の依頼等を行っております。その他、Rh（-）の血液型やまれな血液型など、その患者さんにあった血液を確保する必要がある場合には、電話やメールで献血協力要請を行います。



献血ルーム受付



移動採血



献血 Web 会員サービス（ラブラッド）

継続的に献血にご協力頂ける方を募集するため、平成 18 年度に「複数回献血クラブ」が設立され、平成 30 年度には会員の方へのサービス向上を目的として、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」へとリニューアルされました。

ラブラッドは安全性の高い輸血用血液を安定的に患者さんへお届けする事を目的として、年に複数回、県内の献血会場での 400 mL 献血または成分献血にご協力いただける方を募集しています。

会員の皆様には血液センターから状況に合わせた献血依頼のメールを配信し、依頼内容に合った献血をお願いしています。令和 4 年度から献血の事前問診が可能となりました。また、ラブラッドアプリが開始されたことにより「ラブラッド」の機能が充実され、幅広く多くの会員の皆様からご好評いただいております。

● 献血依頼メール等の一例

- ・ 献血ルームにおいて成分献血、400mL 献血を安定的に確保するための定期的な配信
- ・ 献血バスにおける 400mL 献血を安定的に確保するための配信
- ・ 献血者の減少により血液確保に困難な状況が生じている時の献血依頼
- ・ 特定の血液型が多く使用されている状況での献血依頼
- ・ 血液在庫状況のお知らせ
- ・ イベント・キャンペーン開催のお知らせ

● ラブラッドの特典

- ・ 平成 17 年 4 月以降の検査成績等を見ることができます。
また、グラフでも表示されます。
- ・ ラブラッドポイントが貯まり、20 ポイント毎に記念品と交換ができます。
- ・ 献血ルームにおける成分献血、400 mL 献血の予約ができます。
- ・ 献血バス（一部会場）における 400 mL 献血の予約ができます。



会員登録はこちら

<https://www.kenketsu.jp/>

献血サポーター

献血サポーターとは、医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血や献血推進活動に積極的に協力いただける企業・団体のことです。

献血サポーターとなった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用いただいています。

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」へのご参加をお願いしています。

※このロゴマークは企業・団体が行う「献血活動」を応援するため、厚生労働省が制作したものです。
※このマークの使用にあたっては、「献血サポーター」活動への参加が必要となります。

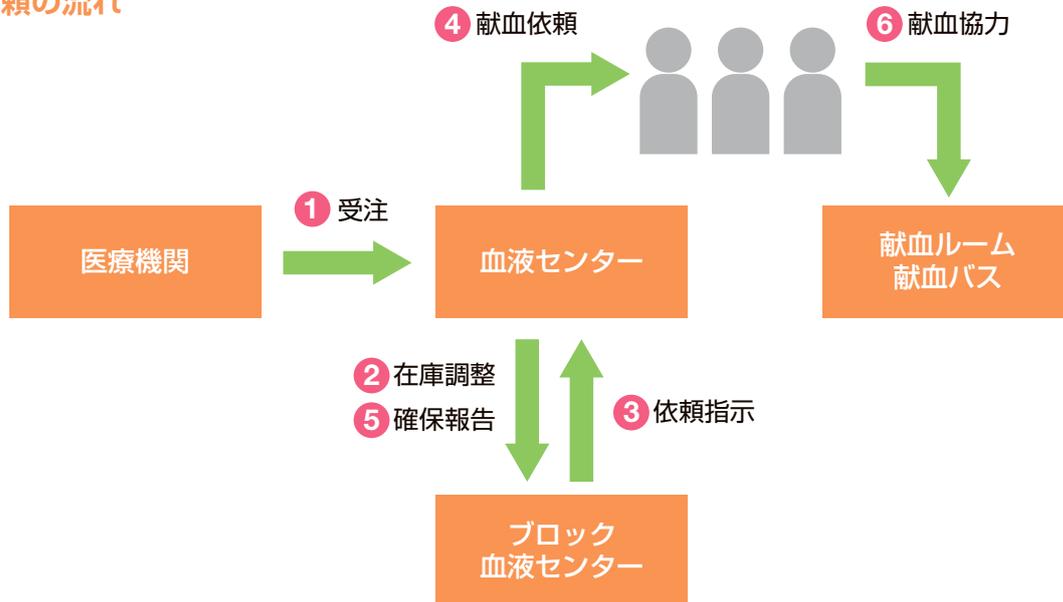


特殊な血液の献血依頼要請

埼玉県赤十字血液センターでは、皆様に献血の申し込みをいただく際に、献血依頼要請の可否について確認しています。この項目にご同意いただいた方に対して、下記のような場合に電話で献血のお願いをしています。

- (1) 輸血用血液の在庫が減少傾向にある場合
- (2) Rh(一)の血液の在庫が必要になった場合
- (3) まれな血液が必要になった場合

●献血依頼の流れ



平成24年度から血液製剤のさらなる「安全性の向上」と「安定供給の確保」および「効率的な事業運営」を行うため、これまでの都道府県単位の事業運営体制を見直し、各都道府県の血液センター単位によるものから、ブロックを単位とする広域的な事業運営体制に移行しました。このブロック化により血液在庫も広域で管理され、特殊血の在庫状況も短時間で把握できるようになりました。また、在庫がない場合にもブロックセンターが複数の血液センターに依頼要請を出すことにより、医療機関に対してより迅速な対応が可能となりました。

● 採 血

埼玉県赤十字血液センターでは、県内7か所に献血ルームを開設しています。また、県内1か所の血液センターと2か所の事業所及び出張所に配置した移動採血車を職場や地域の献血会場へ配車し、来場された献血者から採血しています。献血には下記のような種類がありますが、それぞれ採血するときには、献血者及び輸血を受ける患者さんの安全確保のために、血色素量・献血歴等の確認のほか、健診医師による血液検査ではチェックできない項目等の問診を行っています。



問 診



採血室



● 供 給

埼玉県赤十字血液センターでは、埼玉センター・日高事業所・熊谷出張所の3供給施設において、各血液製剤を定められた条件下で適切に保管・管理しています。また、県内の3供給施設に献血運搬車を配備し、県内の医療機関に血液製剤を供給しています。医療機関からの発注は、埼玉センターで一括受注され、3供給施設から県内の約500医療機関に必要な血液製剤を24時間体制で供給しています。さらに、全国を7つのブロックに分け、広域的な血液製剤の需給管理体制により、輸血を必要としている患者さんのため、迅速に対応しています。



献血運搬車



供給出庫作業



供給受注作業

●学 術

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を医療関係者に伝達・提供・収集する役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術情報部門がその業務を行っています。輸血医療のパートナーとして訪問活動を行い、先に述べた情報等の提供・収集に加え、輸血副作用への対応、問い合わせの対応、埼玉輸血セミナーや勉強会の講師などを主な業務としています。特に輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置付けられています。

また、適正かつ安全な輸血療法の向上を目指すため、平成21年7月には県内医療機関、埼玉県、埼玉県赤十字血液センターで組織される「埼玉県合同輸血療法委員会」を設置し、血液センター学術担当部署が事務局を務めています。令和7年3月1日（土）には、「第16回埼玉輸血フォーラム」を開催し、同委員会での活動の成果を報告しました。



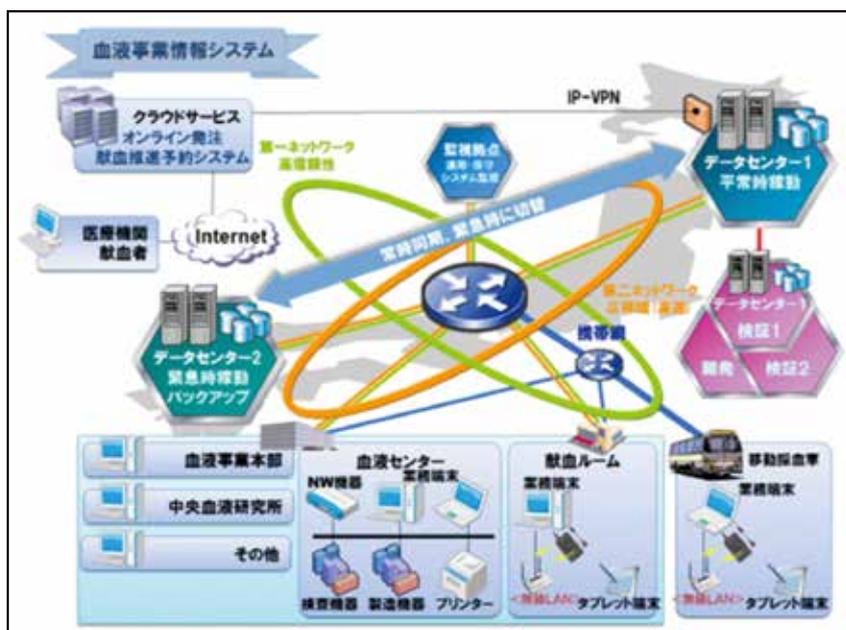
情報媒体の一例



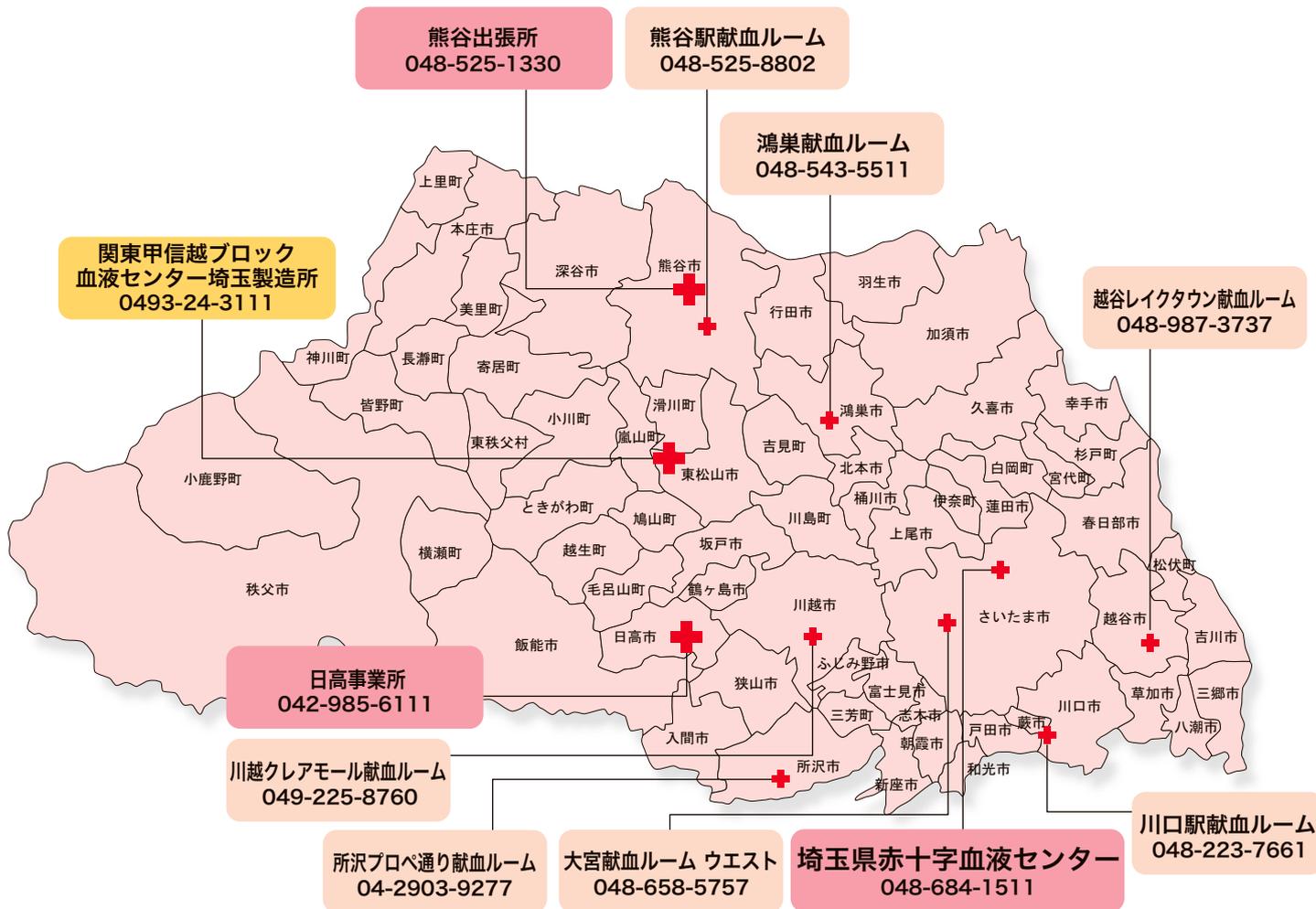
埼玉輸血フォーラム

●情報システムネットワーク

各地の血液センターでは、全国統一のコンピュータシステムを導入し、献血された血液を受け入れてから医療機関に供給するまでの業務をコンピュータ管理しています。また、全国的に整備されたオンラインネットワークを利用し、献血データの一元管理等を行って血液製剤の安全性の確保に役立っています。



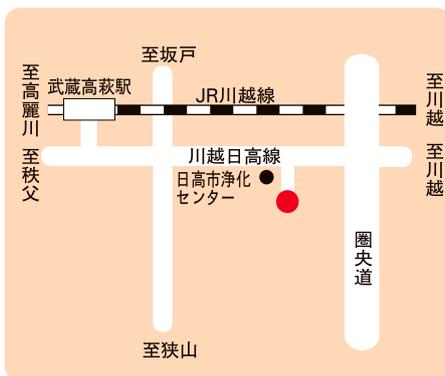
施設の案内



埼玉県赤十字血液センター



日高事業所



熊谷出張所



血液センター



埼玉センター全景

埼玉県赤十字血液センター

- 1 開設年月日 平成27年4月1日
- 2 所在地 337-0003
埼玉県さいたま市見沼区深作955-1
- 3 案内 JR宇都宮線東大宮駅からおよそ2km
048-684-1511
- 4 敷地面積 8,921.75㎡
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建
- 6 延床面積 2,794.66㎡

日高事業所

- 1 開設年月日 平成5年10月1日
- 2 所在地 350-1213
埼玉県日高市高萩1370-12
- 3 案内 JR川越線武蔵高萩駅からおよそ2km
042-985-6111
- 4 敷地面積 9,830㎡
(埼玉県及び日高市有地)
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建(本館)
- 6 延床面積 2,885.0㎡(本館)



日高事業所全景



熊谷出張所全景

熊谷出張所

- 1 開設年月日 昭和58年7月1日
- 2 所在地 360-0806
埼玉県熊谷市奈良新田398-1
- 3 案内 JR高崎線熊谷駅北口からおよそ6km
048-525-1330
- 4 敷地面積 6,289㎡(熊谷市有地)
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造
地上2階、地下1階建
- 6 延床面積 2,613.7㎡

献血ルームの案内

大宮献血ルーム ウェスト

- 所在地**
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-4-1
DOM PARTⅢ 5階・6階
- 電話**
048-658-5757
- 受付時間**
成分献血 9:00~16:15
全血献血 9:00~17:45
- 休業日** 年末年始(臨時開設があります)



越谷レイクタウン献血ルーム

- 所在地**
〒343-0828 埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1
イオンレイクタウンmori 1階
- 電話**
048-987-3737
- 受付時間**
成分献血 10:00~16:30
全血献血 10:00~17:30
※入居施設の営業時間により
変更になる可能性があります
- 休業日** 年末年始(臨時開設があります)



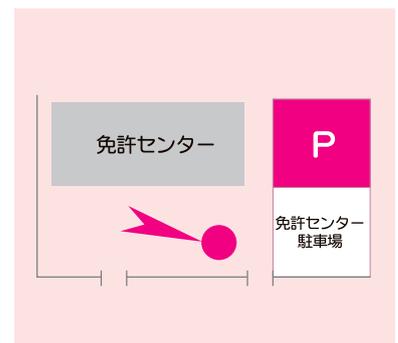
川越クリアモール献血ルーム

- 所在地**
〒350-1122 埼玉県川越市脇田町4-2
ドン・キホーテ川越東口店4階
- 電話**
049-225-8760
- 受付時間**
成分献血 9:45~12:30/14:00~16:30
全血献血 9:45~17:30
- 休業日** 年末年始(臨時開設があります)
ビル休館日



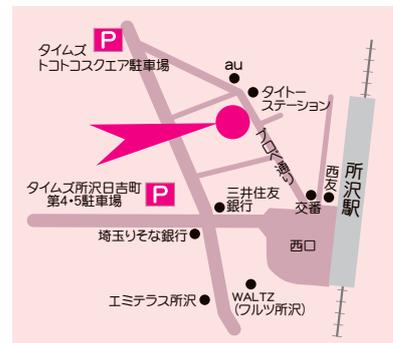
鴻巣献血ルーム

- 所在地**
〒365-0028 埼玉県鴻巣市鴻巣405-4
埼玉県運転免許センター内
- 電話**
048-543-5511
- 受付時間**
全血献血 8:45~13:00/14:00~16:30
- 休業日** 土曜・祝日及び年末年始
(運転免許センターの休業日)



所沢プロペ通り献血ルーム

- 1 所在地
〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町10-19
Tokorozawa ex 2階
- 2 電話
04-2903-9277
- 3 受付時間
成分献血 9:15~12:30/14:00~16:00
全血献血 9:15~13:00/14:00~17:00
- 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



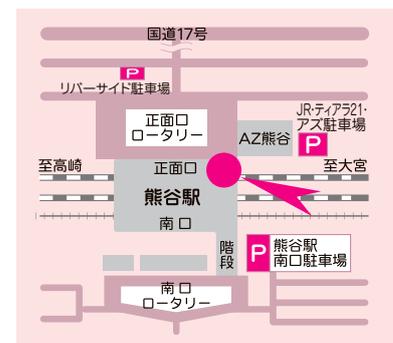
川口駅献血ルーム

- 1 所在地
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-24
川口駅東口ビル3階
- 2 電話
048-223-7661
- 3 受付時間
成分献血 9:45~12:30/14:00~16:30
全血献血 9:45~13:00/14:00~17:30
- 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



熊谷駅献血ルーム

- 1 所在地
〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-112
JR熊谷駅構内
- 2 電話
048-525-8802
- 3 受付時間
成分献血 9:15~12:30/14:00~16:00
全血献血 9:15~13:00/14:00~17:00
- 4 休業日 毎週火曜日
※火曜日が祝日の場合は開所
年末年始(臨時開設があります)



広報・キャンペーン活動

1 新社会人献血キャンペーン

開催日	令和6年4月1日(月)～6月30日(日)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	ポスターやSNSによるPR 献血ルーム及び献血バスにて献血を実施した新社会人を対象に 県が作製した記念品を配布
共催	埼玉県



新社会人献血キャンペーンポスター

2 愛の血液助け合い運動

期間	令和6年7月1日(月)～7月31日(水)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	「献血推進ポスターコンクール」の実施 「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」 (彩の国さいたま愛の血液助け合い運動は令和6年7月1日(月) から8月31日(土)まで実施)
実施機関	埼玉県・日本赤十字社埼玉県支部



ポスターコンクール最優秀賞ポスター

3 大宮アルディージャ応援キャンペーン2024

期間	令和6年7月11日(木)～7月18日(木)
会場	大宮献血ルームウエスト及び大宮駅東口(移動採血)
内容	大宮アルディージャや血液センターSNSによるPR 献血にご予約の上ご協力いただき、受付にて「大宮アルディージャを応援しています!!」と合言葉を伝えていただいた方に 記念品を配布
協力	大宮アルディージャ



大宮アルディージャ応援キャンペーン2024

4 初回献血! お友達&ご家族紹介キャンペーン

期間	令和6年9月1日(日)～11月30日(土)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	ポスターやSNSによるPR 献血経験のある方と初めての方が一緒に献血会場に来場し各々が 献血を申し込んだ際、県が作成した記念品を配布
共催	埼玉県



紹介キャンペーン

5 ワイルドナイツ献血2024

期 間	令和6年10月12日(土)～10月18日(金) (キャンペーン) 令和6年10月12日(土) (献血啓発イベント)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	選手出演ポスターや動画、SNSによるPR キャンペーンへの参加を希望したうえで献血にご協力いただいた方に記念品を配布 ※選手サイン入りグッズが当たるイベントも実施
協 力	埼玉パナソニックワイルドナイツ



ワイルドナイツ献血2024

6 REDS献血キャンペーン2024秋

期 間	令和6年11月1日(金)～12月7日(土) (キャンペーン) 令和6年11月23日(土) (献血啓発イベント)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	選手出演ポスターや動画、SNSによるPR キャンペーンへの参加を希望したうえで献血にご協力いただいた方に記念品を配布 ※選手サイン入りグッズが当たるイベントも実施
協 力	浦和レッドダイヤモンズ



REDS献血キャンペーン2024秋

7 大宮アルディージャ優勝おめでとうキャンペーン

期 間	令和6年11月25日(月)～12月15日(日)
会 場	大宮献血ルームウエスト
内 容	大宮アルディージャや血液センターSNSによるPR 受付にて「大宮アルディージャ、優勝おめでとう!!」と合言葉を伝えていただき献血にご協力いただいた方に記念品を配布
協 力	大宮アルディージャ



大宮アルディージャ優勝おめでとう

8 クリスマス献血キャンペーン2024

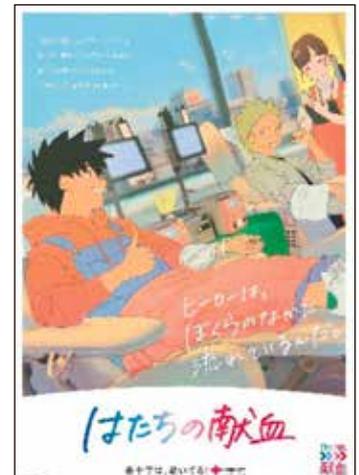
期 間	令和6年12月15日(日)～12月21日(土) (キャンペーン) 令和6年12月21日(土) (献血啓発イベント)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	選手出演ポスターやSNSによるPR (ア)もしくは(イ)を満たした方に記念品を配布 (ア)予約を行い400献血mLまたは成分献血にご協力いただいた方 (イ)献血にご協力いただきラブラッドに新規登録された方 ※選手サイン入りグッズが当たるイベントも実施
共 催	日本赤十字社埼玉県支部・埼玉県学生献血推進連盟「赤い絆」
後 援	埼玉県・羽生市
協 力	埼玉西武ライオンズ・埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会



クリスマス献血キャンペーン2024

9 「はたちの献血」 キャンペーン

期 間	令和7年1月1日(水)～2月28日(金)
内 容	マスメディアやHP及びSNSによる周知 県作製啓発用資材を成人式の会場等で配付
共 催	埼玉県



はたちの献血

10 シニア60～64 (ロクマルロクヨン)初回献血キャンペーン

期 間	令和7年1月1日(水)～3月31日(月)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	ポスターやSNSによるPR 60歳から64歳の間に初めて献血された方 (59歳までの献血経験の有無は問わない)を対象に県が作製した記念品を配布
共 催	埼玉県



シニア60～64

11 卒業献血キャンペーン

期 間	令和7年2月1日(土)～4月30日(水)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	卒業する県内の高校生へチラシを配布し献血協力を依頼 献血協力時対象者へは県作製の記念品を進呈
共 催	埼玉県・埼玉県教育委員会



卒業献血キャンペーン

12 埼玉ワイルドナイツ応援キャンペーン2025

期 間	令和7年2月22日(土)～3月2日(日)
会 場	県内各献血ルーム及び対象の移動採血車
内 容	選手出演ポスターやSNSによるPR キャンペーンへの参加を希望したうえで献血へご協力いただいた方に記念品を配布
協 力	埼玉パナソニックワイルドナイツ



ワイルドナイツ応援キャンペーン2025

13 REDS献血キャンペーン2025春

期 間	令和7年3月1日(土)～3月9日(日)
会 場	県内各献血ルーム及び対象の移動採血車
内 容	選手出演ポスターや動画、SNSによるPR キャンペーンへの参加を希望したうえで400mL献血へご協力 いただいた方に記念品を配布
協 力	浦和レッドダイヤモンズ



REDS献血キャンペーン2025春

研修・見学

1 臨床研修医対象研修

目的：輸血を行う立場にある医師を対象とした血液事業に対する理解の向上

埼玉医科大学 臨床研修医

6月24日(1名)、7月8日(1名)、8月26日(1名)、9月2日(1名)、9月24日(1名)、11月11日(1名)、11月25日(1名)、
12月2日(1名)、1月27日(1名)、2月3日(1名)

埼玉医科大学総合医療センター 臨床研修医

5月13日(1名)、6月3日(1名)、7月1日(1名)、8月5日(1名)、9月2日(1名) 10月1日(1名)、11月5日(1名)、
12月2日(1名)、1月6日(1名)、2月3日(1名)

埼玉医科大学国際医療センター 臨床研修医

9月9日(1名)、10月1日(1名)、11月5日(1名)

さいたま赤十字病院 臨床研修医

参加なし

深谷赤十字病院 臨床研修医

参加なし

参加人数合計： 23名

2 学生対象研修

(1) 埼玉県学生献血推進連盟“赤い絆”血液に関する勉強会

目的：埼玉県学生献血推進連盟加盟者の献血及び輸血についての基礎的な知識の習得を目指す。また、実際に血液製剤の保管庫等を見学することで、活動意義の理解を促し、モチベーション向上を図る。

(2) 学生献血推進リーダーの集い

目的：各地域センターでの若年層献血者確保に対する取り組みやキャンペーンの報告並びに情報の共有を図り活動の幅を広げる。



血液に関する勉強会①



血液に関する勉強会②



学生献血推進リーダーの集い①



学生献血推進リーダーの集い②

3 学生を対象とした講座

目的：将来の献血を担う若年層を対象とした献血の重要性の伝達

4月27日(土)	さいたま市立大宮国際中等教育学校	(生徒 9名、教員 15名：計 24名)
5月23日(木)	新座市立八石小学校	(生徒 47名、教員 5名：計 52名)
6月 4日(火)	新座市立片山小学校	(生徒 66名、教員 3名：計 69名)
6月20日(木)	川越市立大東東小学校	(生徒 82名、教員 5名：計 87名)
7月 1日(月)	東松山市立大岡小学校	(生徒 6名、教員 3名：計 9名)
7月18日(木)	埼玉県立浦和工業高等学校	(生徒269名、教員 31名：計300名)
10月23日(水)	皆野町立三沢小学校	(生徒 9名、教員 3名、保護者 9名：計 22名)
11月21日(木)	朝霞市立朝霞第三中学校	(生徒235名、教員 13名：計248名)
11月27日(水)	埼玉県立深谷高等学校	(生徒169名、教員 15名：計184名)
12月18日(水)	埼玉県立熊谷高等学校	(生徒 37名、教員 9名：計 46名)
3月12日(水)	埼玉県立常盤高等学校	(生徒240名、教員 -名：計240名)

参加人数合計：1,281名(内訳：生徒 1,169名、教員・保護者・その他 112名)



4 献血協力団体における献血研修会

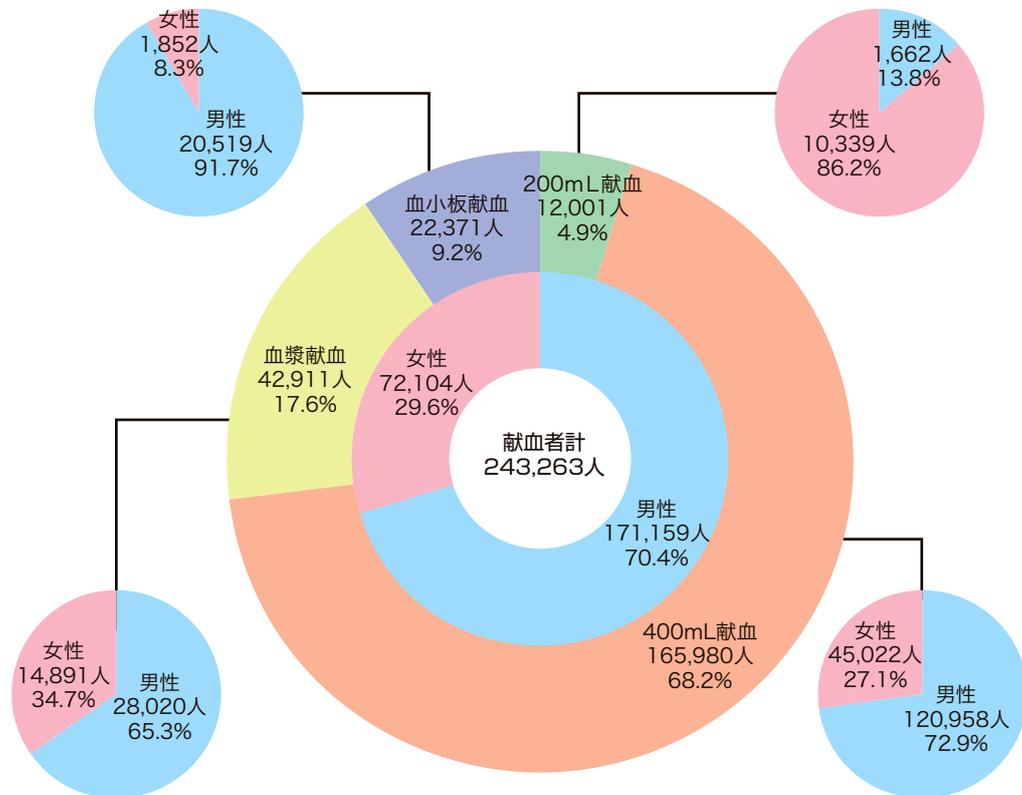
目的：献血協力団体を対象とした献血の現状報告や健康や献血に関する知識の共有

4月 2日(火)	蕨ロータリークラブ	10月11日(金)	かすかべ藤ライオンズクラブ
4月 3日(水)	天理教埼玉教区	10月16日(水)	桶川ロータリークラブ
4月 9日(火)	日本労働組合総連合会埼玉県連合会	10月16日(水)	さいたま市立日進中学校
4月22日(月)	戸田ロータリークラブ	10月17日(木)	戸田西ロータリークラブ
4月25日(木)	桶川市献血推進協議会	10月24日(木)	草加市立谷塚中学校
5月17日(金)	小川町献血推進協議会	11月22日(金)	比企・入間交流研究協議会
5月21日(火)	川口市献血推進協議会	12月 3日(火)	草加市立瀬崎中学校
5月23日(木)	埼玉県信用金庫協会	12月 5日(木)	小江戸川越ロータリークラブ
6月18日(火)	三郷市献血推進協議会	2月 6日(木)	入間ライオンズクラブ
6月24日(月)	幸手市献血推進協議会	2月 7日(金)	深谷東ロータリークラブ
7月 4日(木)	久喜ロータリークラブ	2月17日(月)	岩槻ライオンズクラブ
7月22日(月)	第一生命保険株式会社 埼玉中央支社 本庄営業オフィス	2月20日(木)	鳩ヶ谷ロータリークラブ
7月31日(水)	一般社団法人 生命保険協会埼玉県協会	3月27日(木)	行田ライオンズクラブ
8月 5日(月)	ライオンズクラブ国際協会330-c地区		
9月 3日(火)	さいたま南ロイヤルライオンズクラブ		
10月10日(木)	上尾ロータリークラブ		

参加人数合計： 836名

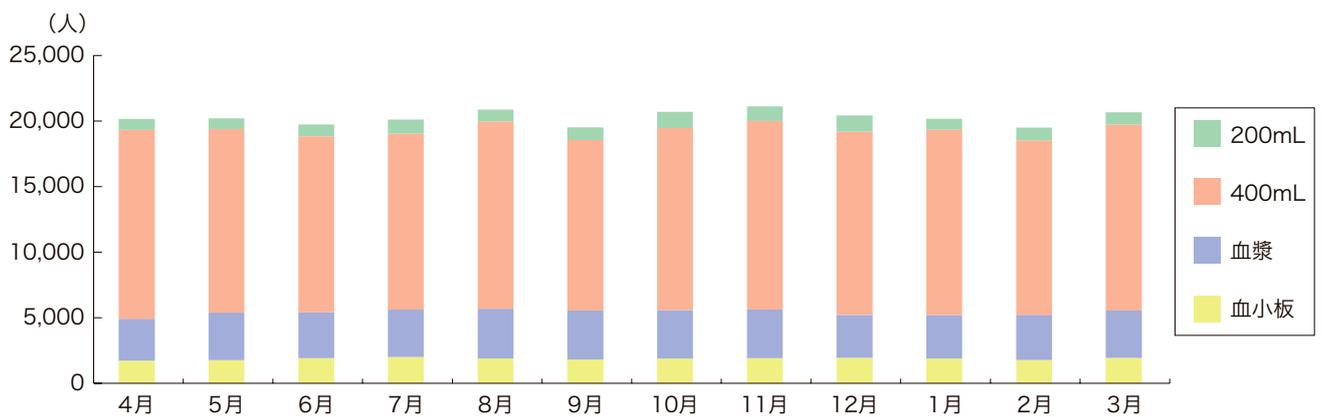
統計資料

1 献血種類別献血者数



※構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない

月別献血者数



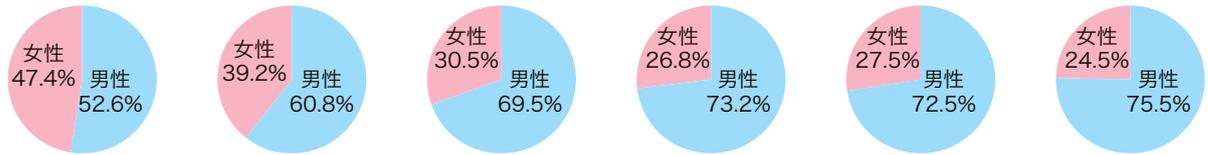
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	243,263	20,195	20,265	19,729	20,103	20,874	19,541	20,714	21,129	20,420	20,153	19,495	20,645
200mL	12,001	913	902	926	1,092	932	968	1,256	1,118	1,247	810	910	927
400mL	165,980	14,293	13,945	13,372	13,369	14,276	12,991	13,836	14,331	13,952	14,121	13,383	14,111
血漿	42,911	3,275	3,616	3,489	3,689	3,774	3,815	3,741	3,812	3,225	3,325	3,456	3,694
血小板	22,371	1,714	1,802	1,942	1,953	1,892	1,767	1,881	1,868	1,996	1,897	1,746	1,913

2 年代別献血者数

16~19歳 10,666人 4.4%	20~29歳 29,753人 12.2%	30~39歳 32,990人 13.6%	40~49歳 52,808人 21.7%	50~59歳 81,541人 33.5%	60~69歳 35,523人 14.6%
---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

男性 (人)

	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳
合計	5,606	18,073	22,919	38,638	59,110	26,813
200mL	1,295	136	42	41	93	55
400mL	4,040	15,224	17,985	27,700	39,297	16,712
血漿	196	1,516	2,642	5,924	11,245	6,497
血小板	75	1,197	2,250	4,973	8,475	3,549



女性 (人)

	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳
合計	5,060	11,662	10,071	14,170	22,431	8,710
200mL	3,311	1,941	931	1,150	2,073	933
400mL	1,524	7,787	6,778	9,181	14,458	5,294
血漿	205	1,740	1,966	3,080	5,417	2,483
血小板	20	194	396	759	483	0

3 職業別献血者数

公務員 30,628人 12.6%	会社員 146,822人 60.4%	学生 10,627人 4.4%	その他 48,673人 20.0%
-------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------

高校生 6,513人 2.7%

男性 (人)

	公務員	会社員	高校生	学生	その他
合計	25,941	115,832	3,088	6,324	19,974
200mL	44	227	1,212	111	68
400mL	19,398	81,332	1,790	5,457	12,981
血漿	3,868	19,562	59	446	4,085
血小板	2,631	14,711	27	310	2,840

※構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない

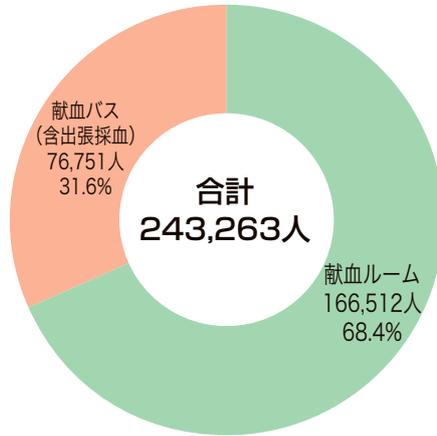
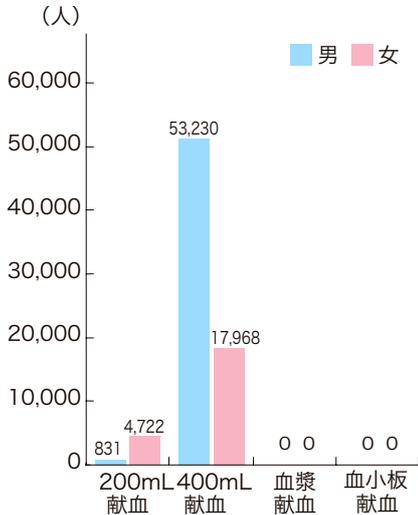


女性 (人)

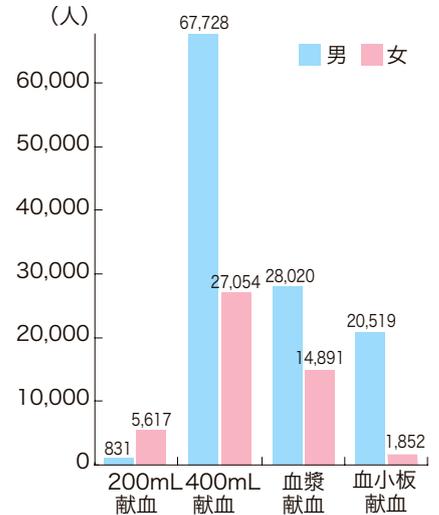
	公務員	会社員	高校生	学生	その他
合計	4,687	30,990	3,425	4,303	28,699
200mL	579	3,343	2,870	919	2,628
400mL	3,181	20,642	483	2,788	17,928
血漿	850	6,055	68	549	7,369
血小板	77	950	4	47	774

4 受入施設別献血者数

移動採血



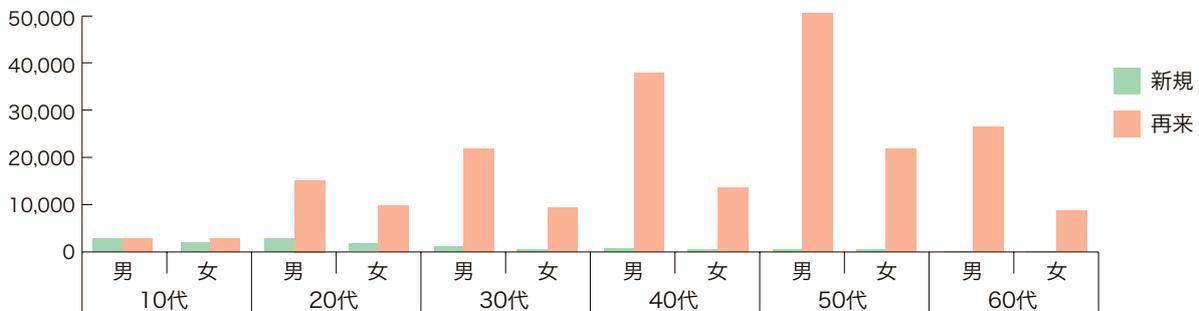
献血ルーム



5 年代別新規再来献血者数

(人)

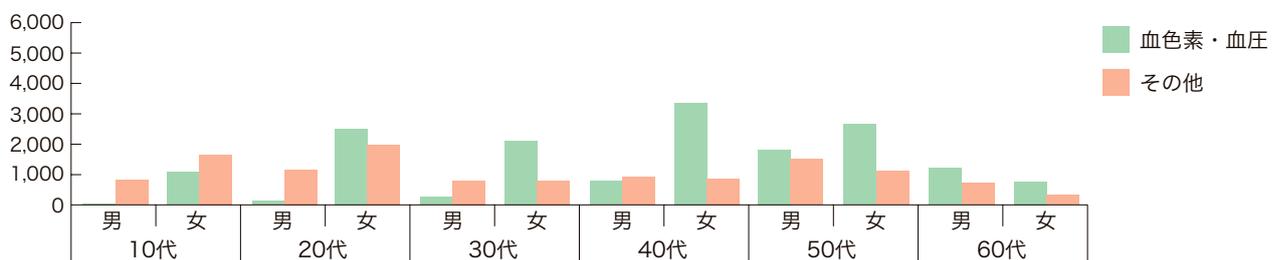
	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	243,263	5,606	5,060	18,073	11,662	22,919	10,071	38,638	14,170	59,110	22,431	26,813	8,710	171,159	72,104
新規	13,859	2,801	2,289	2,876	1,794	1,121	616	730	458	529	495	69	81	8,126	5,733
再来	229,404	2,805	2,771	15,197	9,868	21,798	9,455	37,908	13,712	58,581	21,936	26,744	8,629	163,033	66,371



6 献血不適格者数

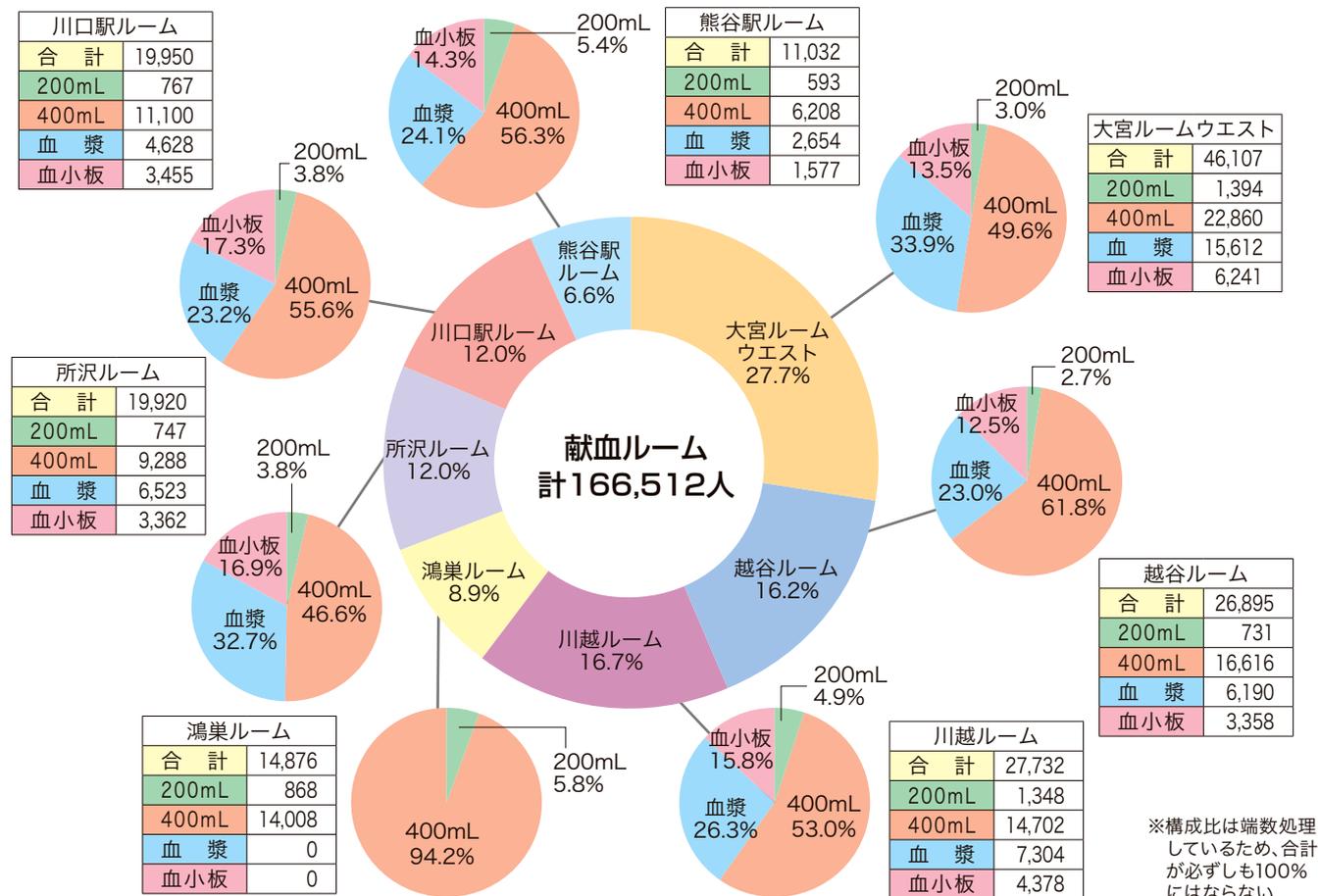
(人)

	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	30,057	907	2,756	1,330	4,542	1,144	2,968	1,778	4,288	3,376	3,839	1,951	1,178	10,486	19,571
血色素・血圧	17,104	63	1,087	165	2,518	325	2,155	832	3,391	1,841	2,698	1,219	810	4,445	12,659
その他	12,953	844	1,669	1,165	2,024	819	813	946	897	1,535	1,141	732	368	6,041	6,912



7 献血ルームの受入状況

①献血ルーム別献血者数



②職業別献血者数

	合計	公務員		会社員		高校生		学生		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	166,512	13,158	2,461	82,626	20,694	1,661	2,126	3,858	3,260	15,795	20,873
ウエスト	46,107	4,011	792	22,959	5,828	483	568	1,192	971	3,912	5,391
越谷	26,895	1,936	379	13,729	3,283	207	275	473	408	2,402	3,803
川越	27,732	2,041	321	13,144	3,564	477	650	850	699	2,592	3,394
鴻巣	14,876	878	181	7,373	1,764	84	61	380	246	1,710	2,199
所沢	19,920	2,169	373	9,041	2,389	137	246	457	537	2,001	2,570
川口駅	19,950	1,176	237	10,751	2,630	132	148	311	288	2,005	2,272
熊谷駅	11,032	947	178	5,629	1,236	141	178	195	111	1,173	1,244

③新規再来別献血者数

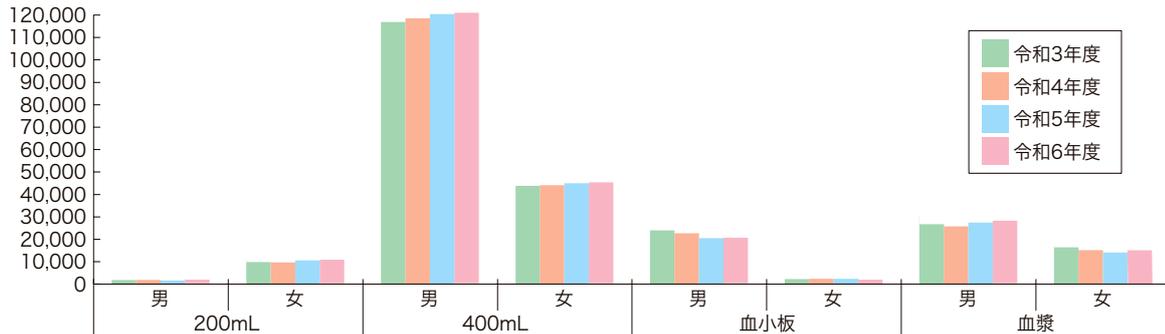
	合計	新規		再来	
		男	女	男	女
合計	166,512	3,146	3,123	113,952	46,291
ウエスト	46,107	645	742	31,912	12,808
越谷	26,895	446	479	18,301	7,669
川越	27,732	514	628	18,590	8,000
鴻巣	14,876	785	404	9,640	4,047
所沢	19,920	269	393	13,536	5,722
川口駅	19,950	304	296	14,071	5,279
熊谷駅	11,032	183	181	7,902	2,766

8 献血者の推移

① 献血種類別の推移

(人)

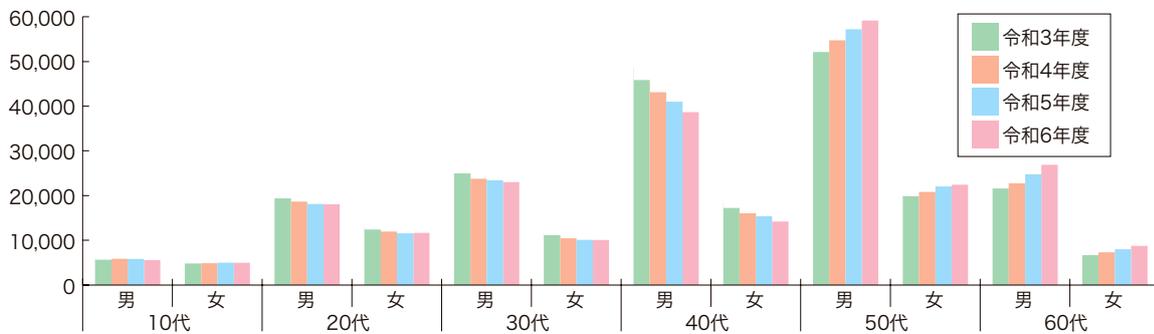
	合計	200mL		400mL		血小板		血漿		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和3年度	240,942	1,492	9,704	116,846	43,778	23,846	2,324	26,765	16,187	168,949	71,993
令和4年度	239,357	1,671	9,382	118,397	44,277	22,485	2,382	25,744	15,019	168,297	71,060
令和5年度	241,491	1,795	10,571	120,165	44,839	20,327	2,202	27,512	14,080	169,799	71,692
令和6年度	243,263	1,662	10,339	120,958	45,022	20,519	1,852	28,020	14,891	171,159	72,104



② 年齢別の推移

(人)

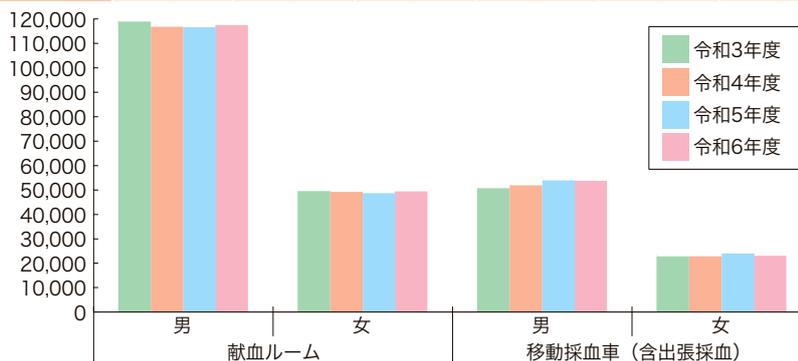
	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和3年度	240,942	5,514	4,862	19,334	12,310	24,835	10,985	45,749	17,132	51,974	19,914	21,543	6,790	168,949	71,993
令和4年度	239,357	5,825	4,835	18,446	11,757	23,601	10,292	43,030	16,040	54,554	20,874	22,841	7,262	168,297	71,060
令和5年度	241,491	5,732	5,010	18,109	11,475	23,251	10,069	40,875	15,317	57,087	21,898	24,745	7,923	169,799	71,692
令和6年度	243,263	5,606	5,060	18,073	11,662	22,919	10,071	38,638	14,170	59,110	22,431	26,813	8,710	171,159	72,104



③ 受入施設別推移

(人)

	合計	献血ルーム		移動採血車 (含出張採血)		計	
		男	女	男	女	男	女
令和3年度	240,942	118,395	49,190	50,554	22,803	168,949	71,993
令和4年度	239,357	116,590	48,714	51,707	22,346	168,297	71,060
令和5年度	241,491	116,301	48,205	53,498	23,487	169,799	71,692
令和6年度	243,263	117,098	49,414	54,061	22,690	171,159	72,104



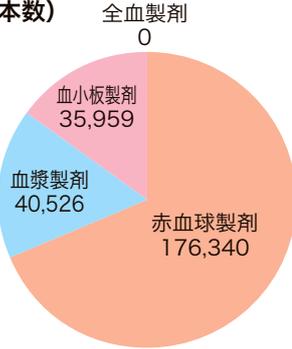
9 供給の状況

①血液製剤種類別供給数

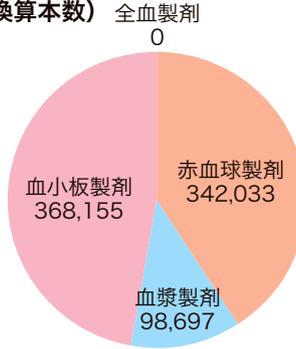
※「単位換算本数」は、各製剤の単位数を本数に換算した本数

	1単位製剤	2単位製剤	成分							本数合計	単位換算
			FFP-480	1単位	2単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
全血製剤	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0
赤血球製剤	10,647	165,693	-	-	-	-	-	-	-	176,340	342,033
血漿製剤	835	30,451	9,240	-	-	-	-	-	-	40,526	98,697
血小板製剤	-	-	-	-	-	735	33,834	332	1,058	35,959	368,155
合計	11,482	196,144	9,240	0	0	735	33,834	332	1,058	252,825	808,885

252,825本
(実本数)



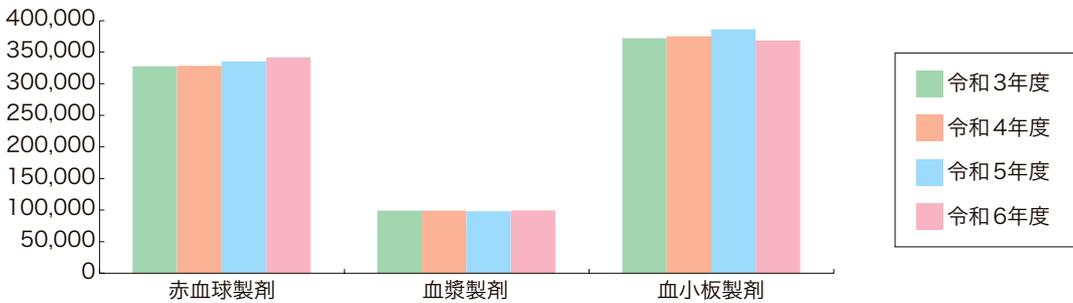
808,885本
(単位換算本数)



②輸血用血液製剤の推移

(200mL換算本数)

	合計	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤
令和3年度	800,397	0	328,455	99,177	372,765
令和4年度	802,594	0	329,609	96,945	376,040
令和5年度	821,255	0	335,482	98,593	387,180
令和6年度	808,885	0	342,033	98,697	368,155

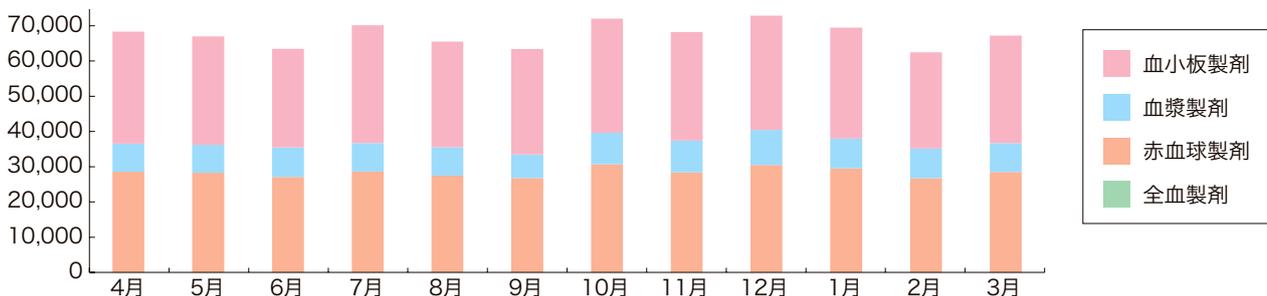


※全血製剤は、値が小さいため省略した。

③月別供給数

(200mL換算本数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	342,033	28,575	28,599	26,958	28,802	27,593	26,612	30,586	28,471	30,866	29,699	26,696	28,576
血漿製剤	98,697	8,000	7,504	8,392	7,932	7,843	6,655	9,145	8,781	9,514	8,403	8,544	7,984
血小板製剤	368,155	31,630	30,960	28,050	33,200	30,015	29,920	32,275	30,645	32,310	31,255	27,310	30,585





日本赤十字社

埼玉県赤十字血液センター

<https://www.bs.jrc.or.jp/kts/saitama/>

